

自然観察会だより

「タカ・カモ・冬鳥、野鳥をじっくりウォッチング目標 40 種」くもり時々雨 参加者 8 名

天気予報通り朝から雨、けれど雨も自然、雨の中鳥達はどのように過ごしているか？雨だとどれだけ鳥が少ないか？見てみましょうと傘をさして出発。センター前でじっと耳を澄ませば、ヒヨドリ、メジロ、など結構賑やかです。



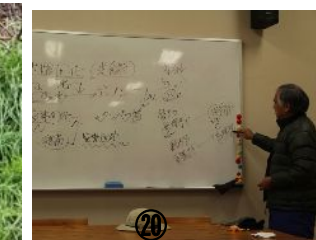
センター前の田んぼと明るい林の縁は、鳥がたくさん見られそうな環境。ひときわ背の高い鳥はアオサギでよく目立ちます。キセキレイが電線に止まっており、ちょっと珍しい光景。ジャージャー鳴きながらふわふわ飛んでいくのはカケスのようです。声や飛び方の特徴も鳥を見分ける時の大事なポイントとなりますよね。



畑の中から急に大きな鳥が飛び立って皆で必死に双眼鏡で追うと、でかいぞノスリだノスリ！色がすこし茶色がかっているのが幼鳥みたいで、今日ももうこれで大満足。広い田んぼを眺め回すと少しずつ色々な鳥が見つかります。電線にカワラヒワが 100 羽くらい、柿畑にツグミの大群 50 羽位。西三河野鳥の会の鳥、ケリもちゃんといました。



川沿いをゆっくり歩いていくと、葦原の中から小さな鳥が次々に飛び立ち、よく見てみるとオオジュリンでした。西尾の観察会ではうれしい初発見。ホオジロとよく似ていますが皆さん判ったかな～？ アオジも出てほおじろ科の 3 種、いる環境が少しずつ違います。やはり環境の多様性が種の多様性につながっている事がこんな事からも実感できます。



小草池では常連かも達に加え、久々にオシドリ登場、初参加の方からこんな所でびっくりと嬉しいお言葉です。おまけは、川の土手でのおんびりしていた⑲ヌートリア。面白いのですが移入種かと思うと少し複雑。寒いので早めにセンターへ戻り、湧川先生のミニ講座。炭酸同化と窒素同化、植物無機物と動物有機物など為になるお話してよかったです。

見つけた鳥・気づいた鳥 **曇り雨の中 3 1 種と大健闘！** (今回の写真、③～⑱は借り物ですので、ご了承下さい)

- きじ科：キジ、かも科：カルガモ、⑯マガモ、⑰コガモ、⑱オシドリ、はと科：キジバト、う科：⑮カワウ、
- さぎ科：②アオサギ、⑭ダイサギ、ちどり科：⑧ケリ、みさご科：ミサゴ、たか科：⑤ノスリ、もず科：⑥モズ、
- からす科：④カケス、ハソボソガラス、ハシブトガラス、ひよどり科：ヒヨドリ、うぐいす科：ウグイス、
- えなが科：エナガ、めじろ科：メジロ、むくどり科：ムクドリ、ひたき科：⑨ツグミ、⑩シロハラ、ジョウビタキ、
- すずめ科：スズメ、せきれい科：③キセキレイ、⑦ハクセキレイ、あとり科：カワラヒワ、
- ほおじろ科：⑪ホオジロ、⑫オオジュリン⑬アオジ (分類は日本鳥類目録第7版 2012 に従いました)